

諏訪地方の経済概況速報

平成24年 3月

(平成24年 2月末調査)

平成24年 3月26日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 1月】	諏訪公共職業安定所管内	0.81倍	+0.24ポイント	
手形交換高【 2月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,094枚	△69枚	
	金 額	8,569百万円	△219百万円	
	うち不渡り	枚 数	1枚	△3枚
	発生状況	金 額	1,000千円	△3,850千円
電力使用量【 2月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	77,444 MWh	+2.0%	
	高压電力計	105,095 MWh	△6.2%	
	合 計	182,539 MWh	△2.9%	
車庫証明取扱件数【 2月】(諏訪地方合計)		1,136件	+13.5%	
新設住宅着工戸数【H23.4~H24.1】(諏訪管内)		930戸	+10.3%	

□本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車部品関連の下請企業からは、大手メーカーの多くが海外シフトの強化を進めているなどの懸念材料がきかれるものの、足元の受注水準はエコカー補助金の復活で新車販売が好調なこともあり堅調とする企業が多い。工作機械などの産業設備関連では、引き続き海外工場向けの受注は比較的堅調な推移となっている。また、デジタル一眼レフカメラの下請企業の受注水準や今後の見通しは、親会社により増減区々となっている。

日本経済全体では、2月に入り超円高の是正や株価の上昇など幾分明るい兆しがみえるが、地域の製造業者からは引き続き親会社の「海外シフト」、「内製化」、「コストダウン要請」等の強化を不安視する声が多くなっている。

●商業

諏訪地方の2月の天候は、降水量が多く、寒気の影響で強い冷え込みとなる日があった。

衣料品では、春物衣料の出足は鈍かったものの逆に単価の高い重衣料が引き続き動き、売上が前年を上回った店舗がみられる。食料品では、薬物を中心に野菜価格の高騰は続いているが、惣菜類や鍋物食材の売れ行きは堅調で、バレンタインや節分などイベント関連商品の動きも好調であった。2月には「トマトがメタボ改善に効果がある」との研究成果の発表があり、当地のスーパーでも生のトマトに加え、トマトジュースの売上が大幅に伸びた。

また、自動車販売では、諏訪地方の2月の車庫証明件数は1,136台と前年同月比+135台(+13.5%)の増加となった。エコカー補助金の復活や新型エコカーの人気などから、販売台数は回復している。

●観光業・サービス業

諏訪地域の2月の入り込み客数は、初旬に確認された4季ぶりの「御神渡り」の報道効果などから前年同月を上回った。なかでも、諏訪大社の2月の参拝者数は約43千人と昨年と比べ約+11千人(+33.3%)もの大幅な増加となった。参道のお土産店や周辺のドライブイン、飲食店からは御神渡り目当ての個人客の増加がきかれた。

一方、諏訪地域の2月の宿泊者数は、厳しい冷え込みや大雪のイメージもあり個人客が減少し、前年同月を下回ったホテル旅館が多かった。御神渡りにより入り込み客は増加したものの、日帰りや通過型の観光客の比率が高いことが引き続き諏訪地域の課題となっている。

また、春の観光シーズンの予約状況等は、震災の影響があった前年同期は上回るものの、今年は首都圏等から東北方面への「復興応援」の企画ツアーの本数が増えており、当地域への団体客の減少を危惧する声もきかれる。

●建設業

市町村の2月の発注工事は、建築工事5件、土木工事及び下水道工事34件、その他工事6件の合計45件271百万円で、前年同月比で件数は△5件、契約金額は△72百万円の減少となった。県関係の2月の公共工事(地元業者受注分)は29件608百万円、また平成23年4月～平成24年2月の累計契約は195件3,734百万円と前年同期累計比で件数は+3件増加、契約金額は△272百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の1月の新設住宅着工戸数は69戸で前年同月比では+8戸(+13.1%)の増加となった。平成23年4月～平成24年1月の年度累計は930戸で前年同期累計に比べ+87戸(+10.3%)の増加となっている。

当金庫の窓口における住宅ローンの相談では、春から夏の着工に向けた通常の相談に加え、消費税の増税を見込んでとりあえず「ローン試算」等を希望されるお客様が増加している。

●雇用

諏訪地域の1月の有効求人倍率は0.81倍と前年同月を+0.24ポイント上回った。なお、対前年同月を+0.2ポイント以上上回るのは平成23年度では初めてである。また、全国の同倍率は0.73倍、長野県の同倍率は0.80倍となっている。

諏訪地域の1月の新規求人数(全数)は1,458人で前年同月比+204人(+16.3%)の増加、新規求職者数(全数)は1,277人で前年同月比△32人(△2.4%)の減少となっている。産業別の前年同月比の新規求人数は、製造業で+62.8%(うち、食品製造業で+830.8%)、運輸業で+38.6%、その他サービス業で+24.4%増加した。なお、食品製造業の増加は寒天製造に係る季節的な求人である。

また、1月の1件10人以上の人員整理は0件、事業主都合による雇用保険資格喪失者は43人で前年同月に比べ△9人減少、前月より△40人減少した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	円高の影響から収益性の低下がきかれる。
プリンター	下請企業の受注は弱含んでおり、生産は低調に推移している。
コンタクター・リレー	旺盛な受注状況が続いている。

2. 輸送用機械

自動車	下請企業からは、大手メーカーの多くが海外シフトの強化を進めているなどの懸念材料がきかれるものの、エコカー補助金の復活で新車販売が好調なこともあり、足元の受注は堅調とする企業が多い。
ピストンリング・シリンダーライナー	円高の影響等から、下請企業の受注には弱含み感がみられる。
船外機	アジア向け機種を受注が引き続き好調で、高水準の生産が続いている。

3. 一般機械

工作機械・専用機	引き続き海外工場向けの受注は、比較的堅調な推移となっている。
搬送用機械	各業種向けとも、概ね安定した受注となっている。
金型	携帯電話や医療器関連などで新規受注もきかれるが、総体では受注が弱含んでいる企業が多い。
ダイカスト	ガスコンロやバルブ等の製品で、復興需要による受注増加がきかれる。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの1月の生産台数は591万台で前月比△18.3%減少、前年同月比△2.1%減少となった。1月の出荷台数は国内出荷46万台、海外出荷512万台の合計558万台で出荷台数全体では前月比△25.5%減少、前年同月比△10.0%減少となっている。 デジタル一眼レフカメラの下請企業の受注水準や今後の見通しは、親会社により増減区々となっている。
レンズ	足元の受注が弱含んでいるなかで、円高の影響等から価格競争が激しくなっている。

5. 織 維

ニット

寒気の影響から店頭での春物の出足は遅れている。サンプル数は増加しているものの、小ロット化がきかれる。

6. 食 品

寒天

2月にNHKの番組にて寒天料理が紹介されたこともあり、スーパー向けの出荷のほか、観光施設等での売れ行きが伸びた。

味噌

厳しい冷え込みもあり、冬季の出荷は堅調であった。

7. 製 材

諏訪地方の1月の木造住宅着工戸数は56戸で、前年同月に比べ+2戸の増加となった。

8. 建 設

公共工事

2月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所13件、施設課関係工事1件、林道治山工事関係7件、農地整備課1件、その他工事7件の合計29件、契約金額608百万円となった。また、平成23年4月～平成24年2月の累計契約は195件3,734百万円と前年同期累計比で件数は+3件増加、契約金額は△272百万円の減少だった。市町村の2月の発注工事は、建築工事5件12百万円、土木工事及び下水道工事34件236百万円、その他工事6件22百万円の合計45件271百万円で、前年同月比で件数は△5件、契約金額は△72百万円の減少となった。

民間工事

諏訪地方の1月の新設住宅着工戸数は69戸で前年同月比では+8戸(+13.1%)の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は+7戸増加の52戸、「貸家」は△2戸減少の12戸、「給与」は+2戸増加の2戸、「分譲」は+1戸増加の3戸となった。平成23年4月～平成24年1月の年度累計は930戸で前年同期累計に比べ+87戸(+10.3%)の増加となっている。

また、長野県内の1月の新設住宅着工戸数は817戸で、前年同月比+42.6%と5ヶ月ぶりの増加となっている。なお、前年同月比の利用関係別では「持家」が467戸で+23.5%増加、「貸家」が287戸で+106.5%増加、「分譲」が57戸で+1.8%増加となった。

9. 商 業

諏訪地方の2月の天候は、低気圧や前線の影響で降水量が多く、また寒気の影響で強い冷え込みとなる日があった。

衣料品では春物衣料の出足は鈍く、食料品では葉物を中心に野菜価格の高騰が続いているが、鍋物食材やバレンタイン・節分などイベント関連商品の動きは好調であった。自動車販売では、エコカー補助金の復活や新型エコカーの人気などから販売台数は回復している。

衣料 気温が低く春物衣料の出足は鈍かったが、逆に単価の高いジャンパーなどの重衣料が引き続き動き、売上が順調だったとの声もきかれる。

食料品 葉物野菜の価格の高騰は続いているが、惣菜類や鍋物食材、またバレンタインや節分関連商品の動きは良かった。トマトがメタボ改善に効果があるとの報道を受け、当地でもトマト類の売上が伸びた。

家電製品 薄型テレビをはじめとしたデジタル家電の動きは引き続き弱く、新生活関連商品の出足も遅い。

自動車 諏訪地方の2月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,136台と前年同月比+135台（+13.5%）の増加となった。エコカー補助金の復活や新型エコカーの人気などから、販売台数は回復している。

ホームセンター 生活必需品は低価格志向が続くものの堅調で、震災から1年を迎えることから再度 防災用品の品揃えを充実させている店舗もみられる。

10. 観 光

諏訪地域の2月の入り込み客数は、初旬に確認された4季ぶりの「御神渡り」効果から前年同月を上回った。諏訪大社の参拝者数は前年同月に比べ+33.3%増加しており、参道のお土産店やドライブイン、周辺の飲食店からは御神渡り目当ての個人客の増加がきかれた。

一方、宿泊者数は厳しい冷え込みや大雪のイメージから個人客が減少し、前年同月を下回ったホテル旅館が多い。また、春の観光シーズンは震災の影響があった前年同期よりは良いものの、今年は首都圏等から東北方面への企画ツアーの本数が増えていることから、当地域への団体客の減少を危惧する声もきかれる。

上諏訪温泉 厳しい冷え込みや北信地方等の大雪のイメージの影響から個人客が減少し、総体の宿泊者数は前年同月を△10%程度下回った。

蓼科・白樺湖・車山等 前年同月と比べた宿泊者数は、施設により横這いから△20%減少まで区々となっている。

下諏訪温泉 宿泊価格の見直しや送迎対応の強化などにより、幾つかの施設では宿泊客数を伸ばしている。

諏訪大社 上社・下社合わせた2月の参拝者数は約43千人と昨年に比べ約+11千人の大幅な増加となった。参道のお土産店などからは、2月初旬に確認された「御神渡り」の報道効果などがきかれる。